

説得力がある・論理性に裏打ちされた文章作成力を身につけたい方へ

オンライン受講
(Zoom)

一般社団法人 中部産業連盟
中産連

相手にスッキリ腹落ちさせる

「ロジカルに書く技術」

～論理的に書けて、強い説得力で伝わる文章の書き方を習得します!～

と き 2022年 6月 2日(木) <1日研修 10:00~17:00>

開催形式 オンライン開催 (Zoom)



ご参加

いただきたい方

● すべてのビジネスパーソン

※その中でも

- 文章を書くと、「なぜか分かりづらく論理性を欠いた表現」になってしまう方
- 自分の書いた文章の「何が悪く、どう直したら良いか」分からない方
- 文章や表現やレイアウトなど、「分かりやすく文書で伝える技術」を身につけたい方

＼ スッキリ腹落ちさせるロジックに書く技術を知ること、文章で伝える力が一気に上がります! /



- ❑ ワンセンテンスが長く何を伝えたいのかよく分からない、もっと簡潔に書いてくれと言われる…。
- ❑ 文書での報告や提案に、論理性の不足や飛躍があると言われる…。
- ❑ 説明不足だったり、一方で重複していたりする。伝えたいことをモレなくダブリなく書いてくれと言われる…。
- ❑ 相手を読みやすくロジカルで簡潔な文章が書けない…。
- ❑ 自分が作成した文章に上司から「読みにくい」「もう少し分かりやすく表現して欲しい」と言われることがあるが、何を・どう改善したらいいのかわからない…。

皆様は、ビジネス文書(提案書・報告書・議事録・メール等)を作成する際、上記のようなことを感じたことはありませんか？

◆ビジネス文書において、論理性が不足し、読みにくいと判断されることは致命傷になります。

ビジネス文書に必要な要件として、

- 論理性や客観性がある。
- ワンセンテンスが長すぎず短かすぎない。
- 文章が回りくどくない(冗長的にならない)。
- 漏れやダブリがない。
- 結論から始め、理由を説明して、例示し、更に結論で強調する。

などがありますが、その中でも、最も重要なことは「論理的」かつ「客観的」な表現ができることです。この2点が大きく不足すると、伝わる威力も大きく失われていきます。

一方で、話して伝えることが苦手でも、ロジカルに書く技術があれば、その欠点を大きく補うことができます。近年、ITが企業社会に浸透してから、文書によるコミュニケーション量が増えていることから、ロジカルライティングの技術はあなたのビジネススキルアップに大きな追い風になってくれます。

本研修では、「適切な日本語の使い方」、「ロジカルに伝わり、かつ文章が書きやすくなる構造」、「抽象⇄具体によるカテゴリーとサマリーの使い分け」、「ロジカルシンキングの考え方や技術を使った文章の書き方」等のフレームワークを学び、「説明⇒演習⇒解説の順」で「どう使えるか」に焦点を当て、皆さんが少しでも深く腹落ちするようにサポートいたします。

とにかく、文章を書くことが苦手…。論理性を意識して文章を書いているつもりなのになぜか相手に伝わらない…。相手から事あるごとに分かりづらいと指摘される…。このようにロジカルライティングでお困りな方には大変即効性の高い研修です。

ロジカルに書くスキルを身につけたい方、ロジカルライティングに弱点がある方は、ぜひこの機会を有効にご活用ください。

相手にスッキリ腹落ちさせる「ロジカルに書く技術」

講師

中産連パートナー講師 (ビジネス文書作成コンサルタント)

IT技術者としてプロジェクトマネジメントや社内教育を経験。業務知識・スキル・経験に差を持つ社員が沢山いる中、伝えたい情報を皆同じレベルで理解してもらうためにどうしたらよいか日々試行錯誤を続け、複雑な情報が誰にでも「等しく伝わるロジカルな書き方」を考案する。様々なビジネスシーンで活用したところ、社内やクライアントから高く評価され、業務効率化と大幅な生産性向上を実現させることができた。
 このような経験を積み重ねた後、コンサルタントとして独立。現在は、全国の企業や官公庁で「伝わる書き方」、「ロジカルライティングの技術」、「ロジカル図解」、「ロジカルプレゼンテーション資料の作成」等の『ロジカルに書く技術』の指導を幅広く行い、実用性の高さで好評価を得ている。

◆ 研修プログラム

1. オープニング

・「伝わらない」文章の悩みと解決への基本な考え方

2. ロジカル文書作成に役立つ基本の考え方【講義→演習】

- (1) 「情報を伝える文書」として適切な日本語の使い方
- (2) ロジカルな文書と非ロジカルな文書を区別してみる
- (3) G/P/Sの視点で情報の構造を発見する
- (4) カテゴリー・ラベルとサマリー・ラベルの習慣づけ
- (5) 長文は分解してラベリングする習慣をつける
- (6) カテゴリー・ラベルの組合せは定型パターンになる
- (7) 問題・目標・原因・施策のパターン
- (8) 「課題」という用語には要注意
- (9) 事実・解釈・方針・影響・メッセージ
- (10) 主語・述語・目的語のパターン

- (11) 入れ替え可能なラベルをつけてはならない
- (12) 新製品の紹介パターン
- (13) 事故報告のパターン
- (14) MECE&ロジックツリー
- (15) フロー&コメントのパターン
- (16) Goal・Problem・How-toパターン
- (17) 機能・効果・目標のパターン
- (18) 背景・問題・理想・方針のパターン
- (19) ロジカル・コミュニケーションの5類型

3. 様々な文書の改善例題 【演習→講師フィードバック】

- | | |
|------------|------------|
| (1) 仕様説明の際 | (2) 手順説明の際 |
| (3) 障害報告の際 | (4) 企画提案の際 |
| (5) 進捗報告の際 | |

相手にスッキリ腹落ちさせる「ロジカルに書く技術」(6 / 2) 参加要項 / 参加申込書

参加費 (1名様)	セミナー受講のみ	中産連会員 33,000円(消費税込)	中産連会員外 38,500円(消費税込)	※研修の学びをもとに、受講者が作成したビジネス文書を講師が添削&アドバイスいたします!
	フォローアップ(事後行動支援)※付き	44,000円(消費税込)	49,500円(消費税込)	
申込方法	●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「レ」を入れてください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。			
受講までの流れ	① 開催日の約1週間前になりましたら、申込責任者宛に「参加用URL」「ミーティングID」「パスコード」をメールにてご案内します。 ② 「テキスト」と「請求書」は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。 【オンライン受講の注意事項】 ・ 配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・ 接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・ IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外のご利用はお断りします。 ・ 研修の撮影・録音は固くお断りします。			
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 テキスト発送後(開催日の約1週間前)………受講料の100% ※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。			
申込み・問合せ先	一般社団法人中産連 管理事業部 小橋川 〒461-8580 名古屋市中区東区白壁3-12-13 TEL052-931-9824 FAX0120-342-340 e-mail:kohashikawa@chusanren.or.jp			

年 月 日

会社名 _____

〒 _____

所在地 _____ TEL _____ FAX _____

フォローアップ(事後行動支援)を希望(レ)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	年齢	E-mail アドレス
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)に おいてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にレ点のご記入 をお願い致します。 <input type="checkbox"/> セミナーなどの関連情報の案内を希望しない
		百万円	人	
中産連連盟会員(○印をお付けください)		会員	会員外	



FAX 0120-342-340

管理事業部 小橋川 行 ★